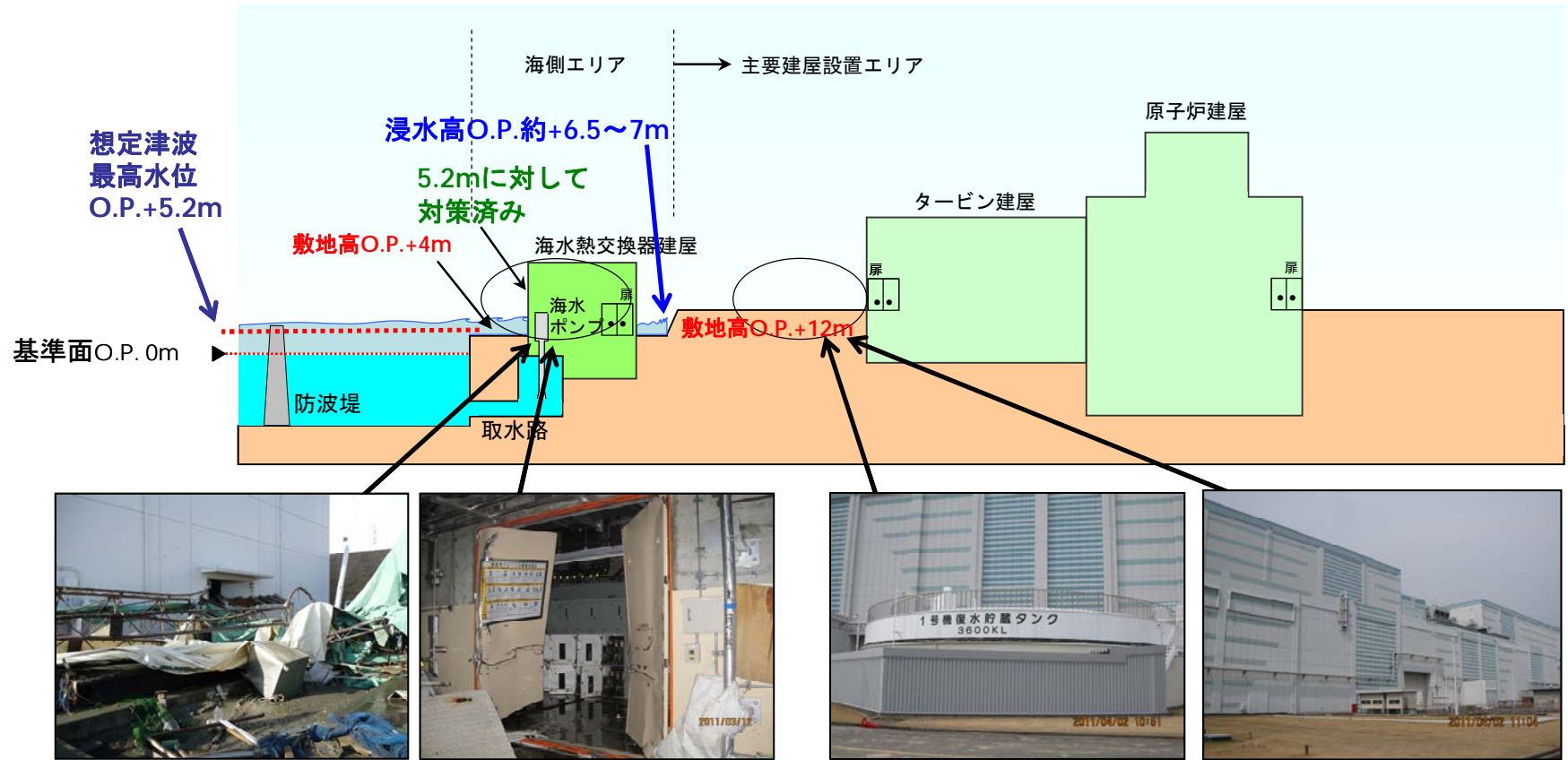


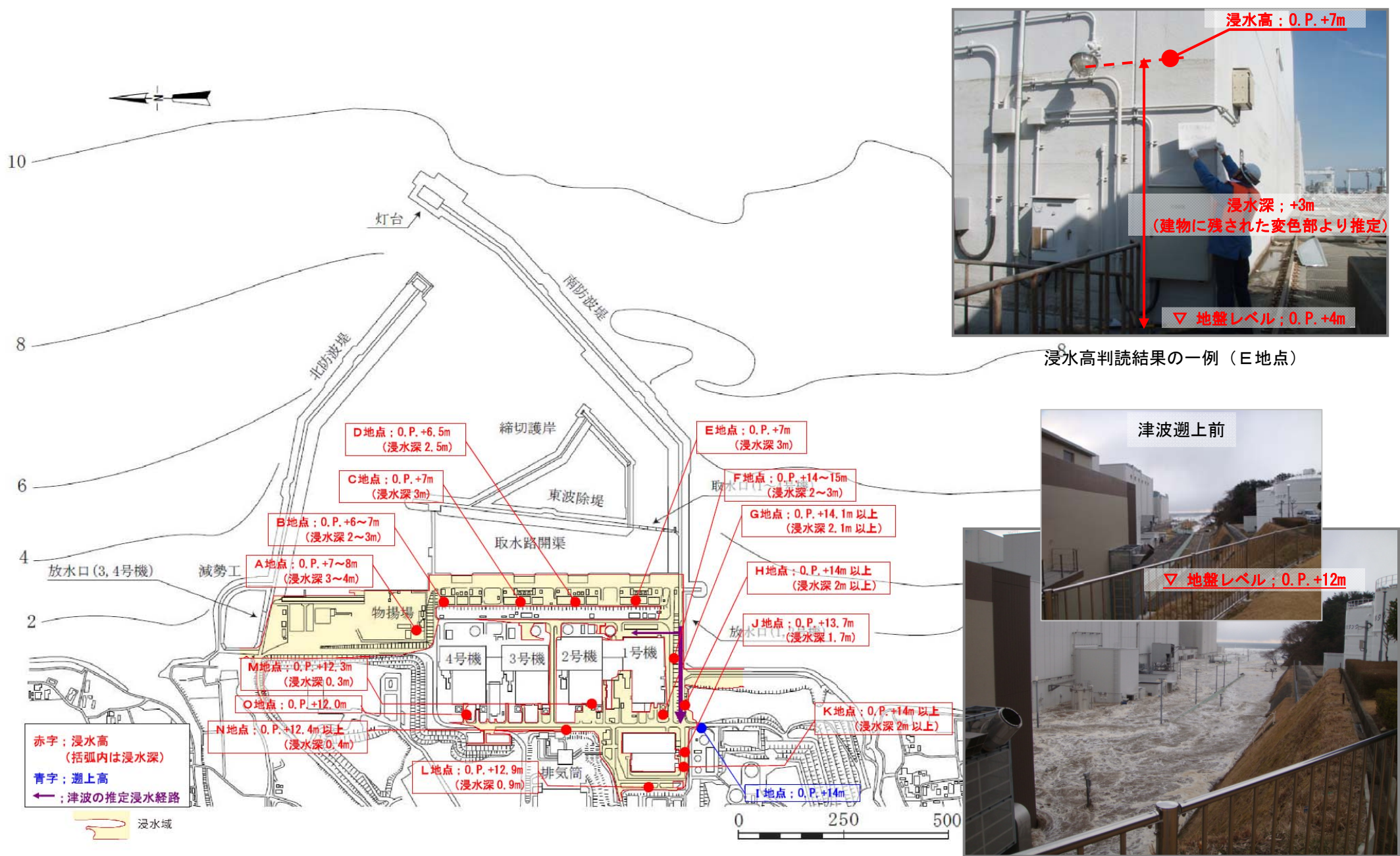
福島第二原子力発電所 津波の調査結果

平成 23 年 3 月 11 日東北地方太平洋沖地震により福島第二原子力発電所に到達した津波の調査を行いました。浸水高、浸水域及び遡上高は以下のとおりです。なお、地殻変動による影響は考慮していません。

- (1) 浸水高：建物や設備に残された痕跡から、海側エリア（敷地高 O.P. +4m）では O.P. 約+6.5~7m（浸水深 約 2.5~3m）、主要建屋設置エリア（敷地高 O.P. +12m）では 1 号機の建屋南側のみ O.P. 約+14~15m（浸水深 約 2~3m）でした。
- (2) 浸水域：海側エリアの全域に及びましたが、海側エリアから斜面を越えて主要建屋設置エリアへの遡上は認められませんでした。主要建屋設置エリアでは、1、2 号機の建屋周辺及び 3 号機の建屋南側のみ浸水しました。
- (3) 遡上高：斜面や路面上に残された痕跡から、O.P. 約+14m でした。



福島第二原子力発電所における津波の状況（概念図）



福島第二原子力発電所の浸水高、浸水域及び遡上高